

# 募集物件の最新状況を開示

## システム連携で内見数を毎日更新

### Good不動産

約1万5000戸を管理するGood(グッド)不動産(福岡市)では、1年ほど前からプロラボテック(東京都千代田区)のオーナーアプリを導入している。導入の目的は、家主が知りたい空室の募集状況の情報を早く正確に提供するためだ。

家主にとって空室はできるだけ早く解消したいものであり、入居者を募集している物件の動向は非常に気になる事案だ。そのため同社では、仲介会社からの問い合わせや内見の数、入居申し込みがあったかどうかを、家主自身が把握できるアプリを導入した。

同アプリは、プロラボテックが提供する管理会社向け募集業務支援システム『GoWeb(ゴーウェブ)！』と連携し、空室の募集状況を家主が



プロラボテックのオーナーアプリ画面。通知機能やチャット機能もある

把握できる仕組みになっている。具体的には、募集物件の資料ダウンロード数、仲介会社からの問い合わせ件数、内見数、申し込みの有無が毎日アプリ上に更新される。

これまで家主は、募集物件の動向について、管理会社に尋ねるしか知る手段がなかった。しかしアプリがあれば家主自身が最新状況を確認しながら、募集条件の見直しなどを検討することができ、管理会社にとっては、空室対策の提案がしやすくなるメリットがある。現在、Good不動産では7割の家主が利用中。アプリにはお知らせや

チャット連絡、送金明細の参照や書類管理、工事報告などの基本的な機能も備わっているため、業務効率化を図ることができる。

実際に5月からは、郵送していた送金明細をアプリでの送付に切り替え、印刷や封入作業、郵送コストの削減につながる。ただこうした不動産会社のメリットはあくまでも副次的な効果だ。「主たる目的は、アナログな方法ではできなかった、募集物件の最新情報の提供。家主の賃貸経営に役立つアプリでなければ意味がない」と牧野修司社長は語る。